

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年08月22日

計画の名称	18 高速道路・国道等へのアクセス強化による魅力あるまちづくり															
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	茨城県,ひたちなか市,八千代町,鹿嶋市															
計画の目標	高速道路・国道等へのアクセス強化によって、都市間の交流や、物流等の都市活動・産業活動が促進された魅力あるまちを形成する。															
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,892	A	1,892	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）			0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初		R5末
1	土地区画整理事業施行区域から周辺のIC・国道まで旅行期間を15%短縮する。（R5）			
	対象路線が整備されることにより、周辺のICおよび国道までの旅行時間が短縮される効果について算出 （旅行時間短縮：（%））＝ $\left[1-\frac{\sum（整備なし旅行時間）}{\sum（整備あり旅行時間）}\right]\times100$	0%	%	15%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	茨城県	直接	茨城県	区画	改築	阿見吉原地区（（都）赤 太郎通り線外）	区画整理 A=160.8ha	阿見町	■					123		－
	A01-002	街路	一般	ひたちな か市	直接	ひたちなか 市	区画	改築	六ッ野地区（（都）東石 川六ッ野線外）	区画整理 A=103.4ha	ひたちなか市	■	■	■	■	■	958		－
	A01-003	街路	一般	ひたちな か市	直接	ひたちなか 市	区画	改築	東部第2地区（（都）向 野西原線外）	区画整理 A=106.8ha	ひたちなか氏	■	■	■	■	■	98		－
	A01-004	街路	一般	ひたちな か市	直接	ひたちなか 市	区画	改築	東部第2地区（（都）西 原長砂線外）	区画整理 A=106.8ha	ひたちなか市	■	■	■	■	■	121		－
	A01-005	街路	一般	八千代町	直接	八千代町	区画	改築	八千代中央地区（（都） 東原高野線外）	区画整理 A=65.8ha	八千代町	■	■	■	■	■	392		－
	A01-006	街路	一般	鹿嶋市	直接	鹿嶋市	区画	改築	平井東部地区（（都）鹿 島道南前山線外）	区画整理 A=68.5ha	鹿嶋市	■					200		－
											小計						1,892		

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											合計						1,892			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
実施主体による評価	令和7年8月
	公表の方法
	茨城県土木部ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	土地区画整理事業施行区域内から周辺周辺のIC・国道までの旅行時間が短縮された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
引き続き、次期整備計画「高速道路・国道等へのアクセス強化による魅力あるまちづくり」において、高速道路・国道等へのアクセス強化によって、都市間の交流や、物流等の都市活動・産業活動が促進された魅力あるまちの形成を目指していく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	15		
	最 終 目標値	15%	高速道路・国道等へのアクセス強化によって、想定よりも周辺のIC・国道までの旅行時間が短縮できたため。
	最 終 実績値	41%	